

「齋宮に関する意識調査」実施報告

齋宮歴史博物館が実施しました「齋宮に関する意識調査」について、788名の方からご回答をいただきました。アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

平成30年7月10日(火)～平成30年7月24日(火)

(2) アンケート回収状況

対象者数 1,146名

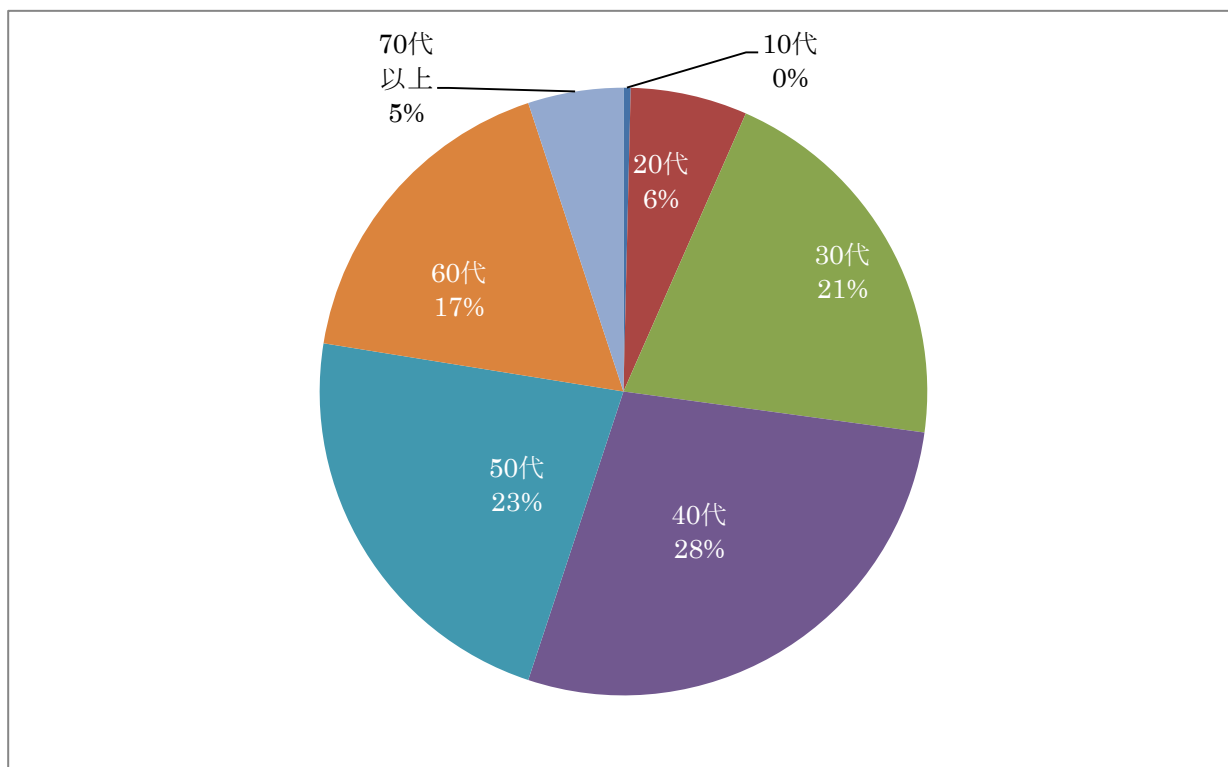
回答者数 788名

回答率 68.8%

(3) 回答者属性

【年代別】

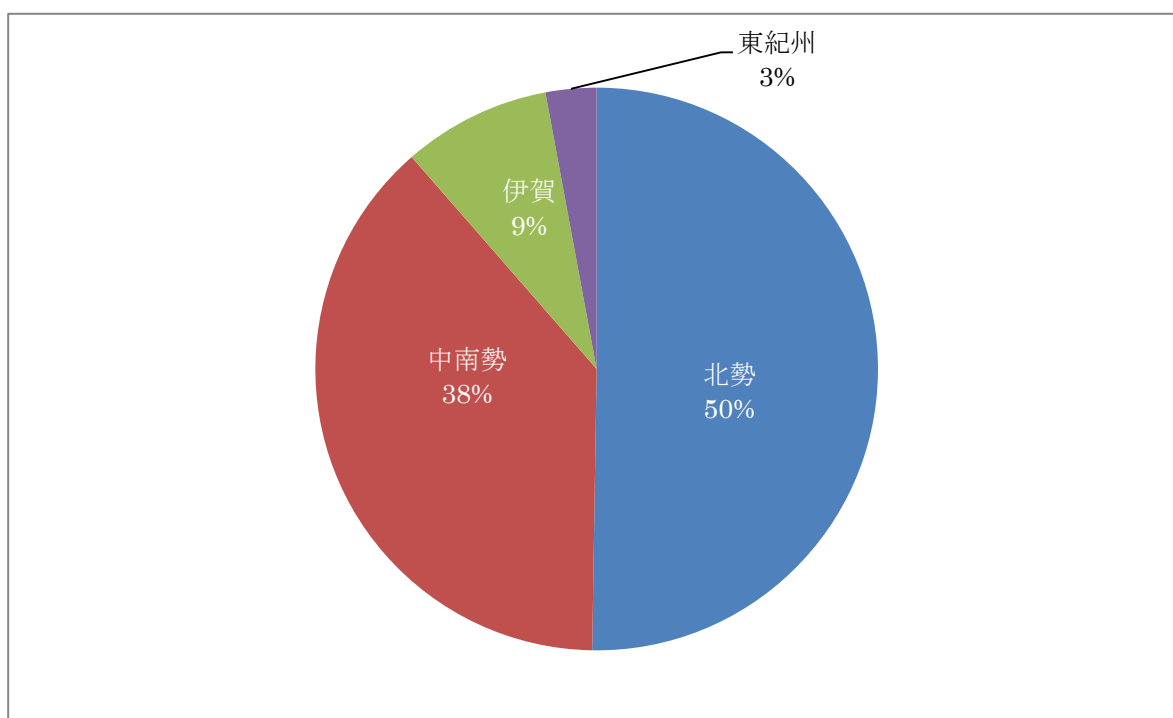
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数(人)	3	49	162	220	177	137	40	788
割合	0.4%	6.2%	20.6%	27.9%	22.5%	17.4%	5.1%	100.0%



※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中南勢	伊賀	東紀州	計
回答者数 (人)	396	302	67	23	788
割合	50.3%	38.3%	8.5%	2.9%	100.0%



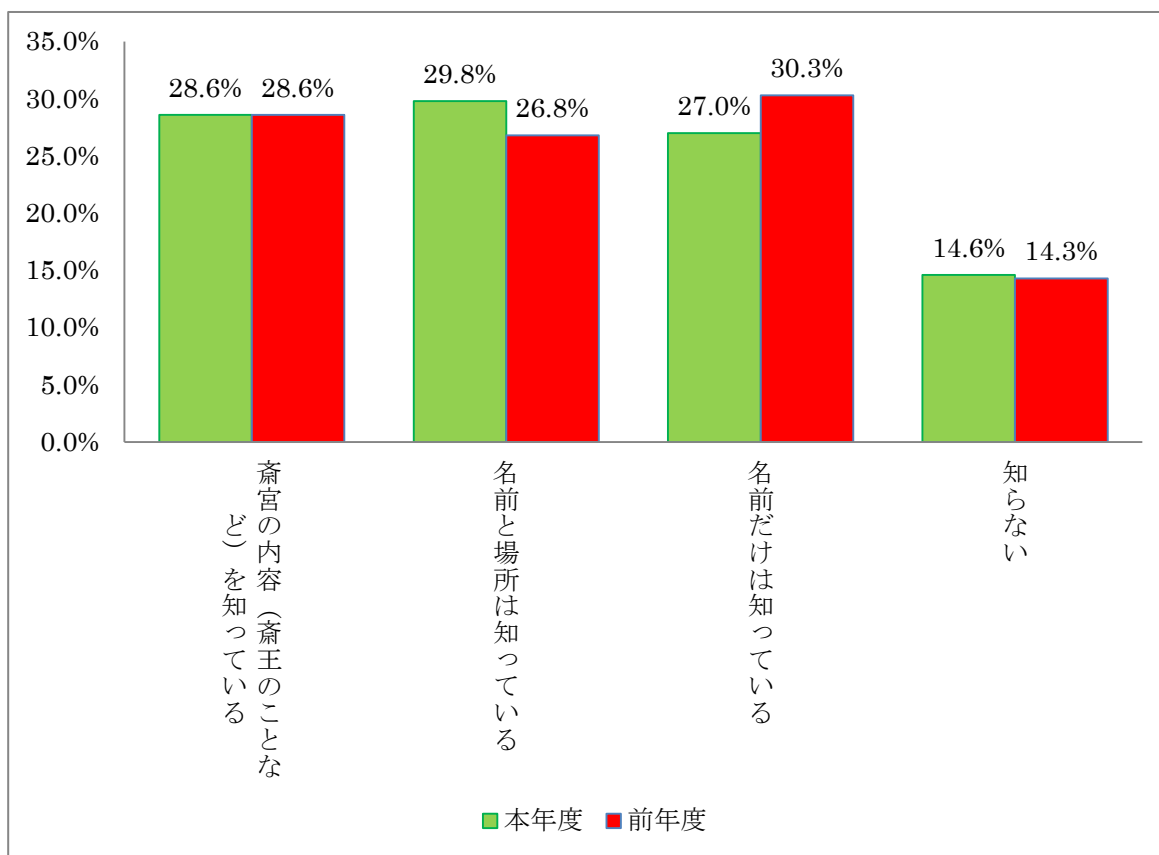
※[北勢] 桑名市、木曾岬町、いなべ市、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市

[中南勢] 津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、玉城町、大紀町、南伊勢町、度会町、鳥羽市、志摩市

[伊賀] 伊賀市、名張市 [東紀州] 尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町

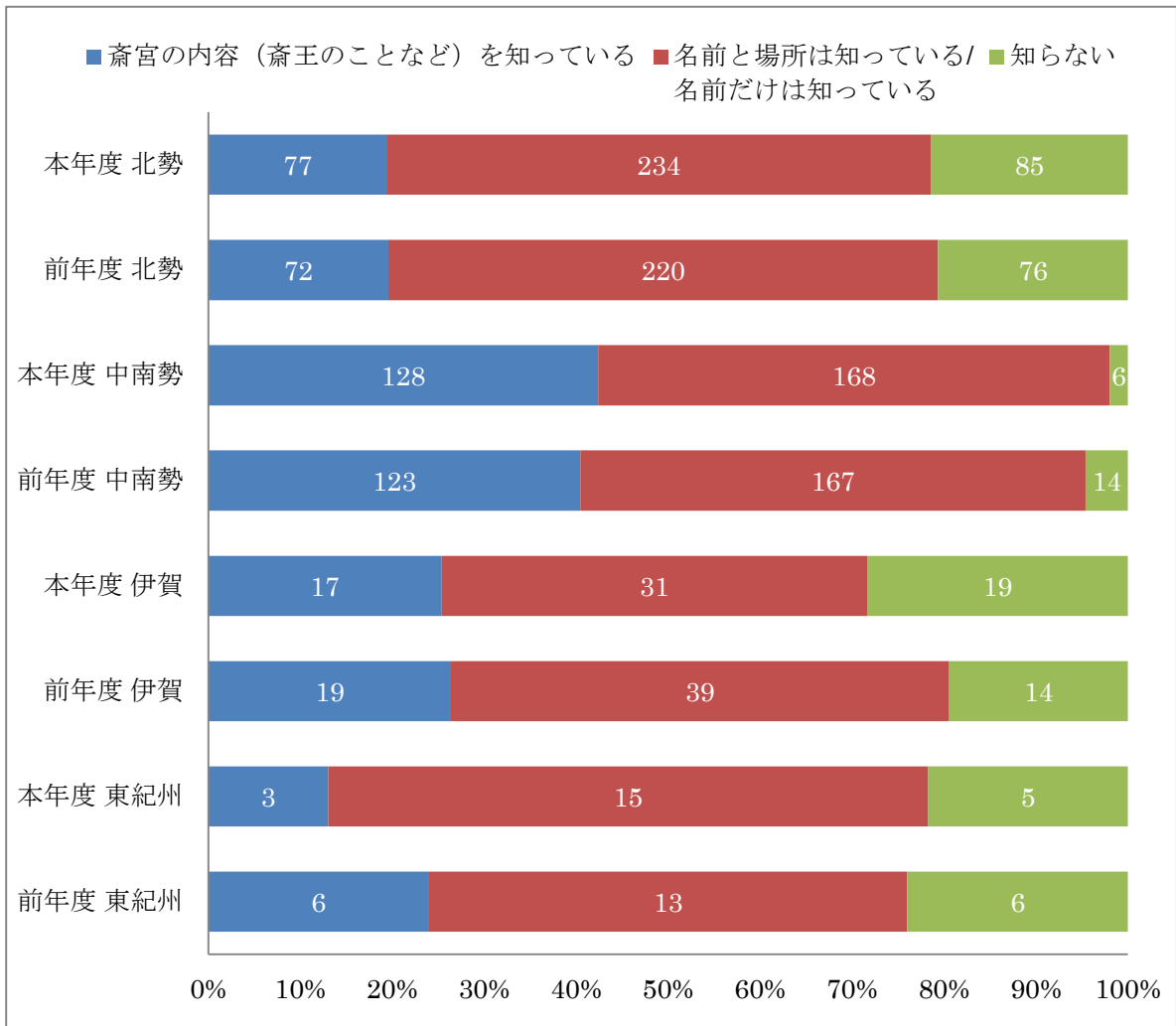
(4) アンケート集計結果

Q1 齋宮をご存じですか。



齋宮の内容を知っているは前年と同じ割合ですが、名前と場所は知っている、名前だけは知っているを合計した割合は、0.3%減少しています。齋宮のことを知らない割合は0.3%増加していますので、齋宮の認知度は少し低下傾向にあります。

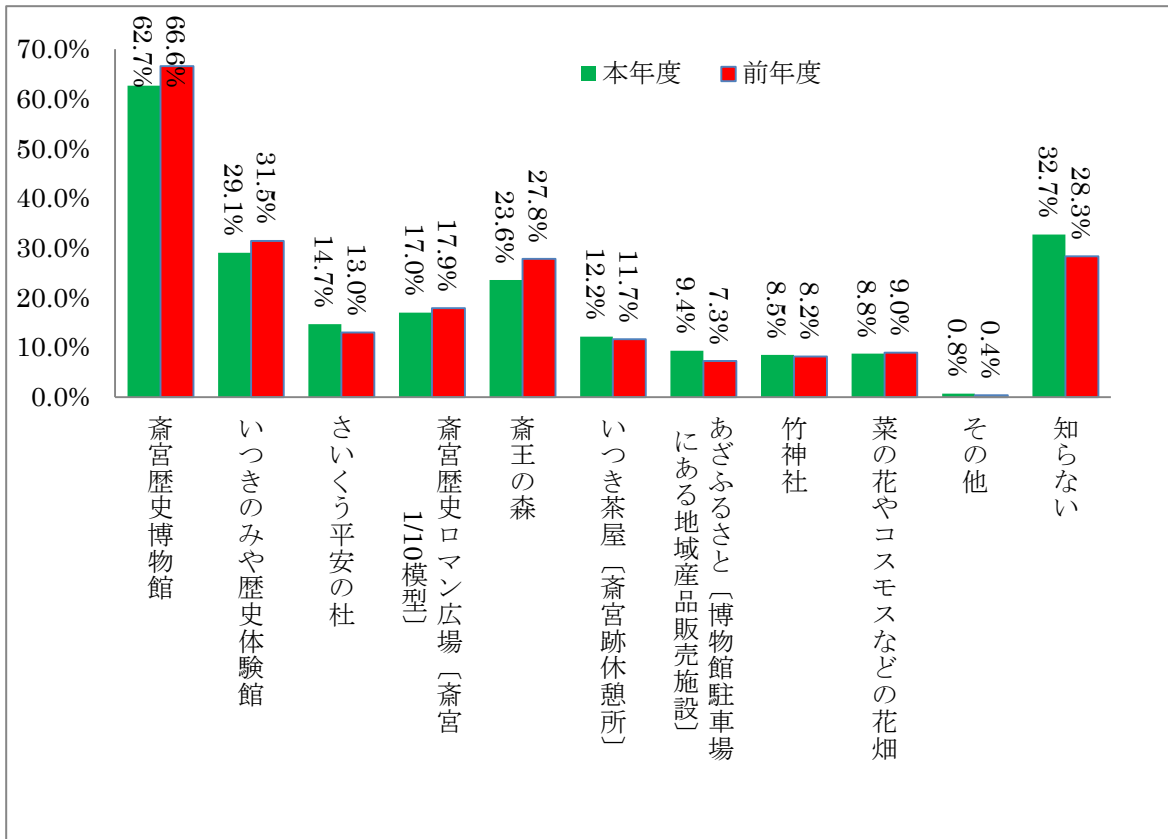
【地域別にみた齋宮の認知度（数字は回答者数）】



中南勢では前年度と比べて認知度は高まりましたが、北勢では僅かながら、伊賀では明らかに認知度が下がっています。

昨年度伊賀市と共催で「伊賀の古代史と齋宮」と題したシンポジウムを伊賀市で開催しましたが、当館の認知度向上に目に見える効果は表れていません。

Q2 齋宮に関する施設で、ご存じのものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

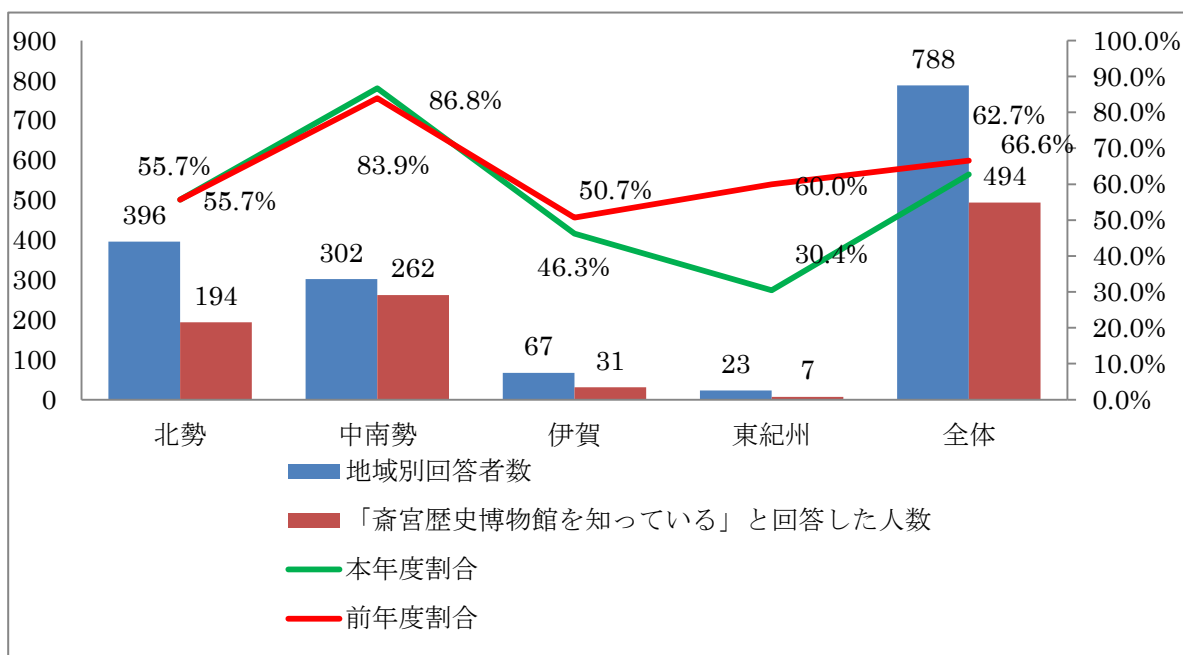


齋宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館、齋宮歴史ロマン広場などの史跡内の主要施設の認知度が前年度に比べ減少し、さらに施設を「知らない」割合も増加しています。Q1の回答とともに考えますと、齋宮の認知度が少し下がり、さらに齋宮を知っている人の中でも、さいくう平安の杜を知っている人の割合は増加しましたが、齋宮歴史博物館やいつきのみや歴史体験館、齋宮歴史ロマン広場の名前や場所を知っている人の割合が減少しています。

なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

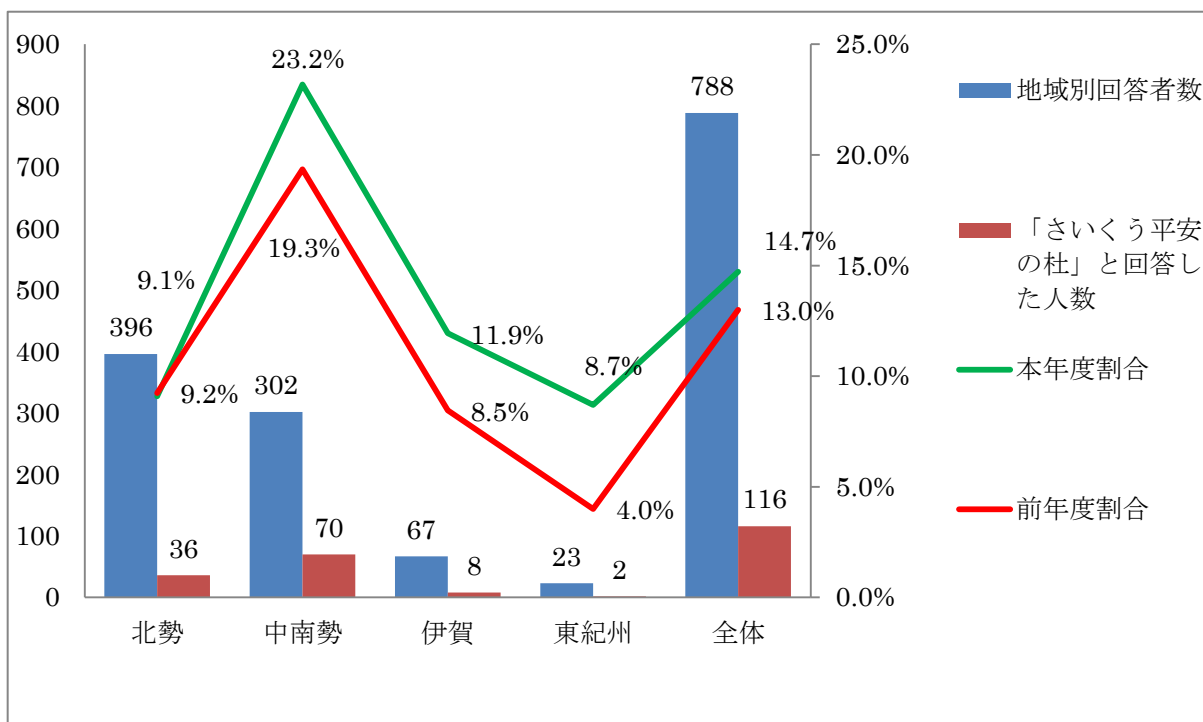
- ・いつきのみや地域交流センター
- ・隆子女王の墓

【地域別にみた「齋宮歴史博物館」の認知度（数字は回答者数）】



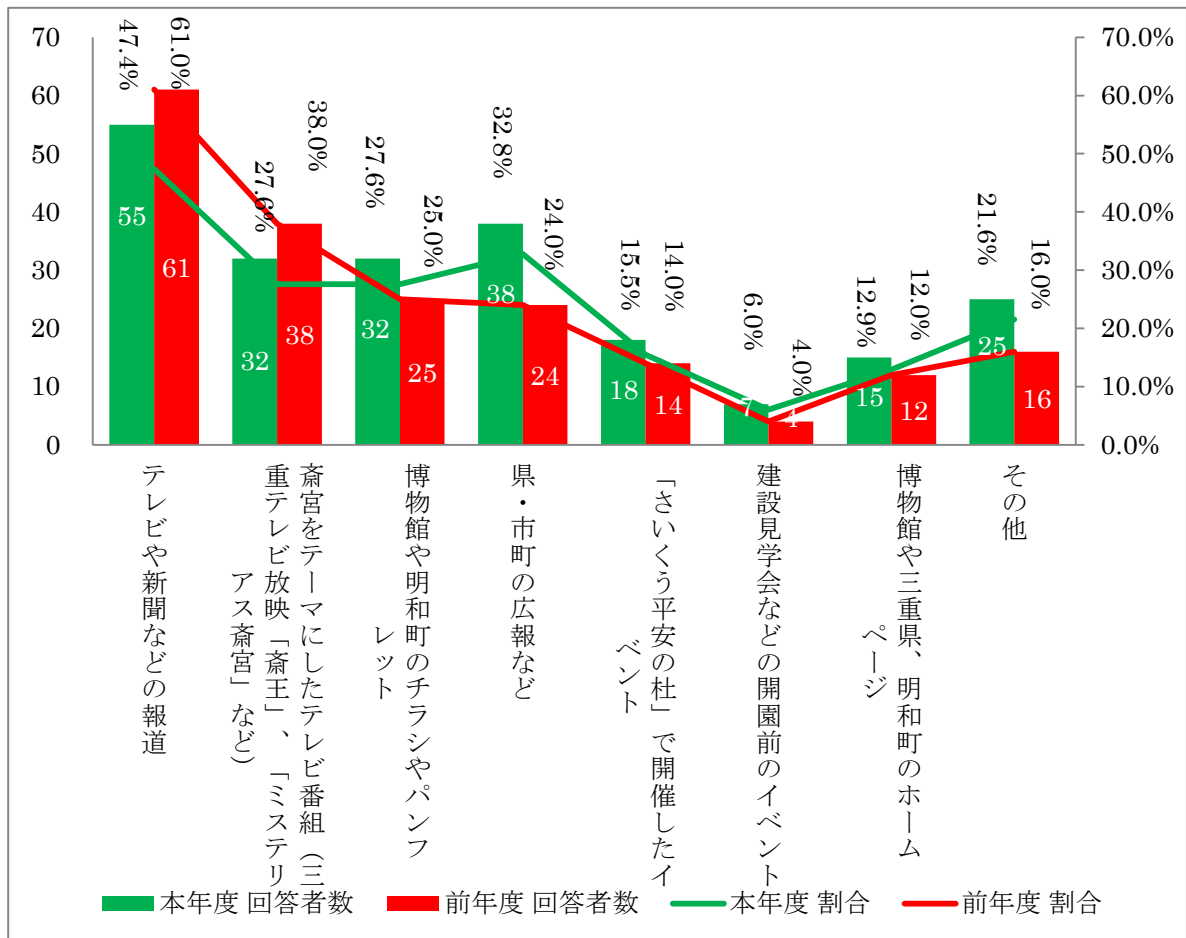
中南勢では認知度が上昇しましたが、北勢では昨年度と同じ割合で、伊賀、東紀州では昨年度より認知度が低くなっています。伊賀、東紀州での認知度は50%未満であり、これらの地域での認知度向上が課題です。

【地域別にみた「さいくう平安の杜」の認知度（数字は回答者数）】



「さいくう平安の杜」が開園して2年半が経過し、中南勢地域での認知度が2割を超えました。総体として、認知度は高まっている状況です。

Q3 Q2で、「さいくう平安の杜」を知っているとお答えいただいた方にお聞きします。どのような機会に知りましたか。



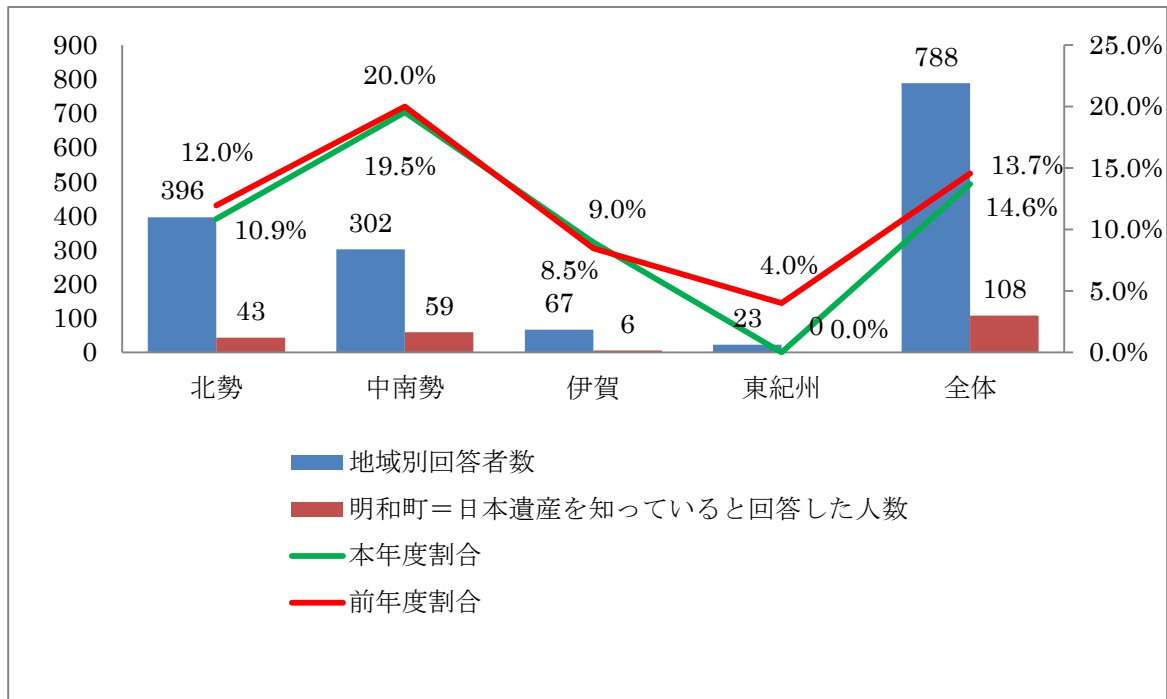
前年度と比較して明らかに違うのは、「博物館や明和町のチラシやパンフレット」、「県や市町の広報など」でさいくう平安の杜を知った人の割合が増えたことです。さいくう平安の杜の西脇殿で開催されるさいくう西脇殿歴史フォーラムを昨年度は6回開催し、今年度もこのアンケートが実施される前に1回開催されていることが認知度向上に寄与したものと考えられます。

なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

- ・電車（近鉄）から見えるから
- ・近鉄特急の車内アナウンス
- ・地元なので

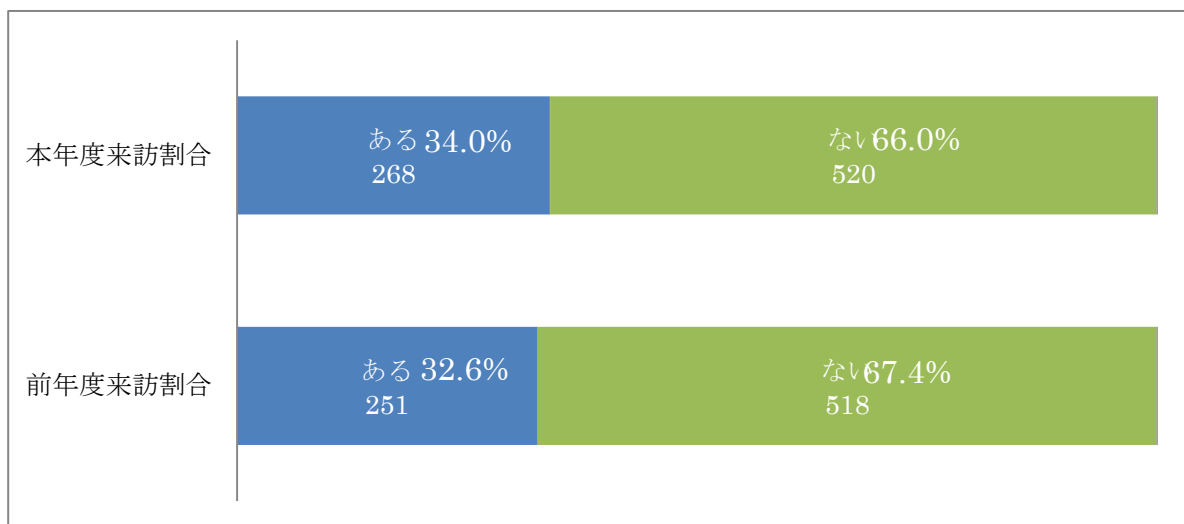
Q4 明和町の「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」が日本遺産に認定されていることをご存じですか。

【地域別にみた明和町の日本遺産登録の認知度（数字は回答者数）】



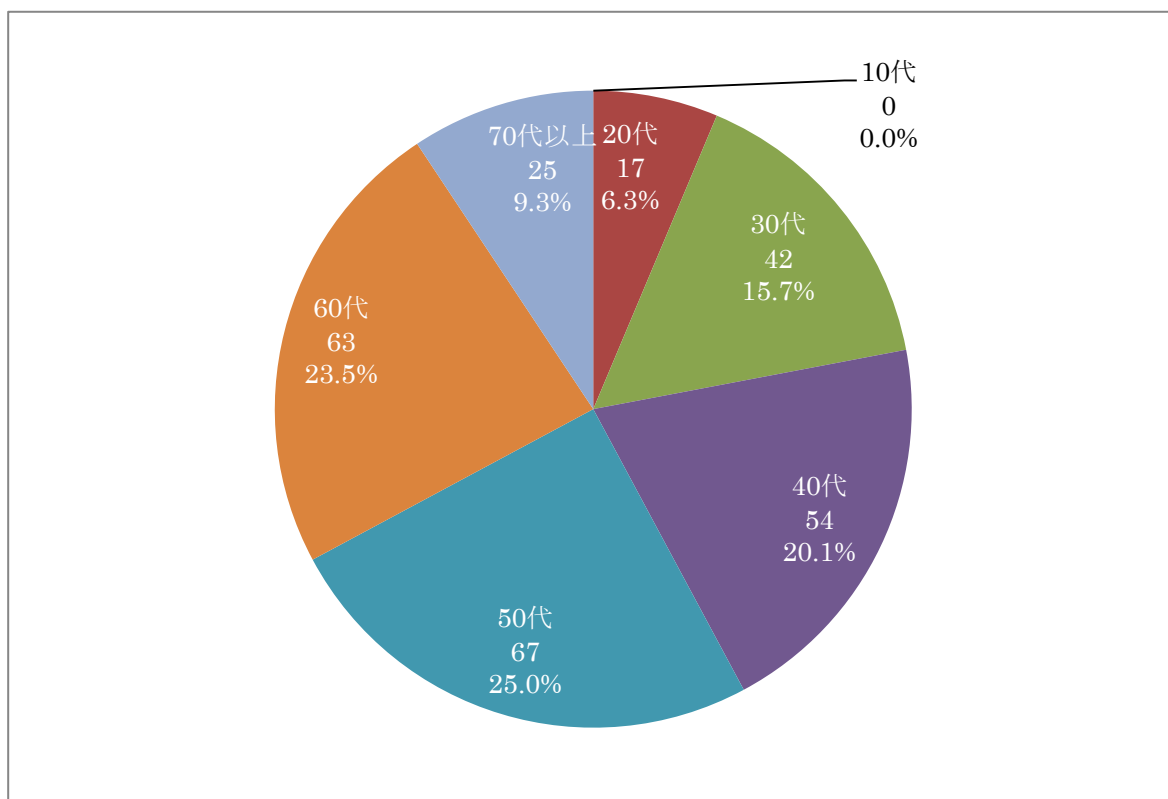
明和町の日本遺産登録について、中南勢において前年度に比べ 0.5%認知度が減少するなど、依然として認知度が低い状況が続いています。

Q5 あなたは斎宮に行かれたことがありますか。



斎宮来訪者の割合が前年度に比べ 1.4%増加しています。

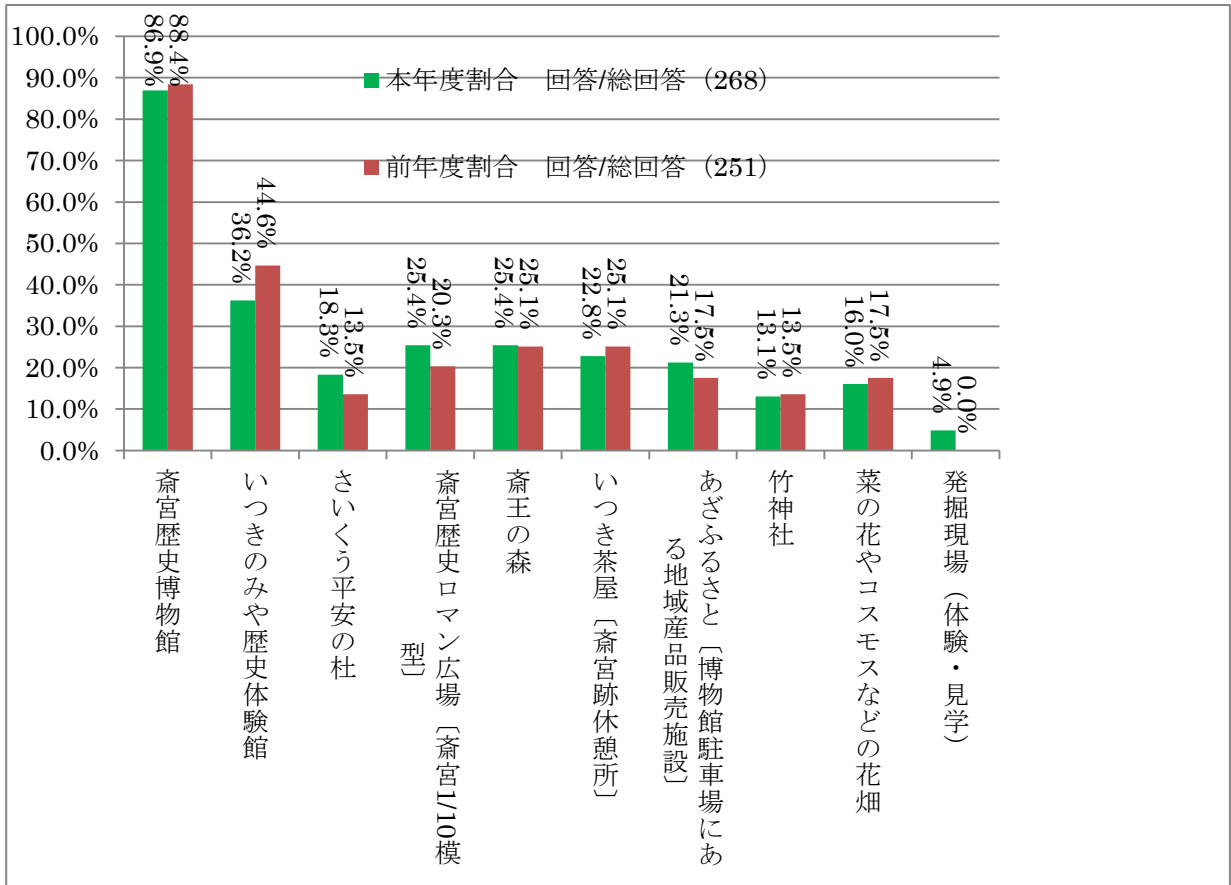
【齋宮を訪れたことがある回答者の年齢層】



来訪者の約7割（68.6%）が、40代～60代で占められています。前年度に比べ、30代は1.0%、70代以上は1.1%減少していますが、40代は2.2%増加しています。

Q6 Q5で、「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。その時どこに行かれましたか。
あてはまるものをすべて選んでください。

【齋宮訪問者の訪問先の割合】



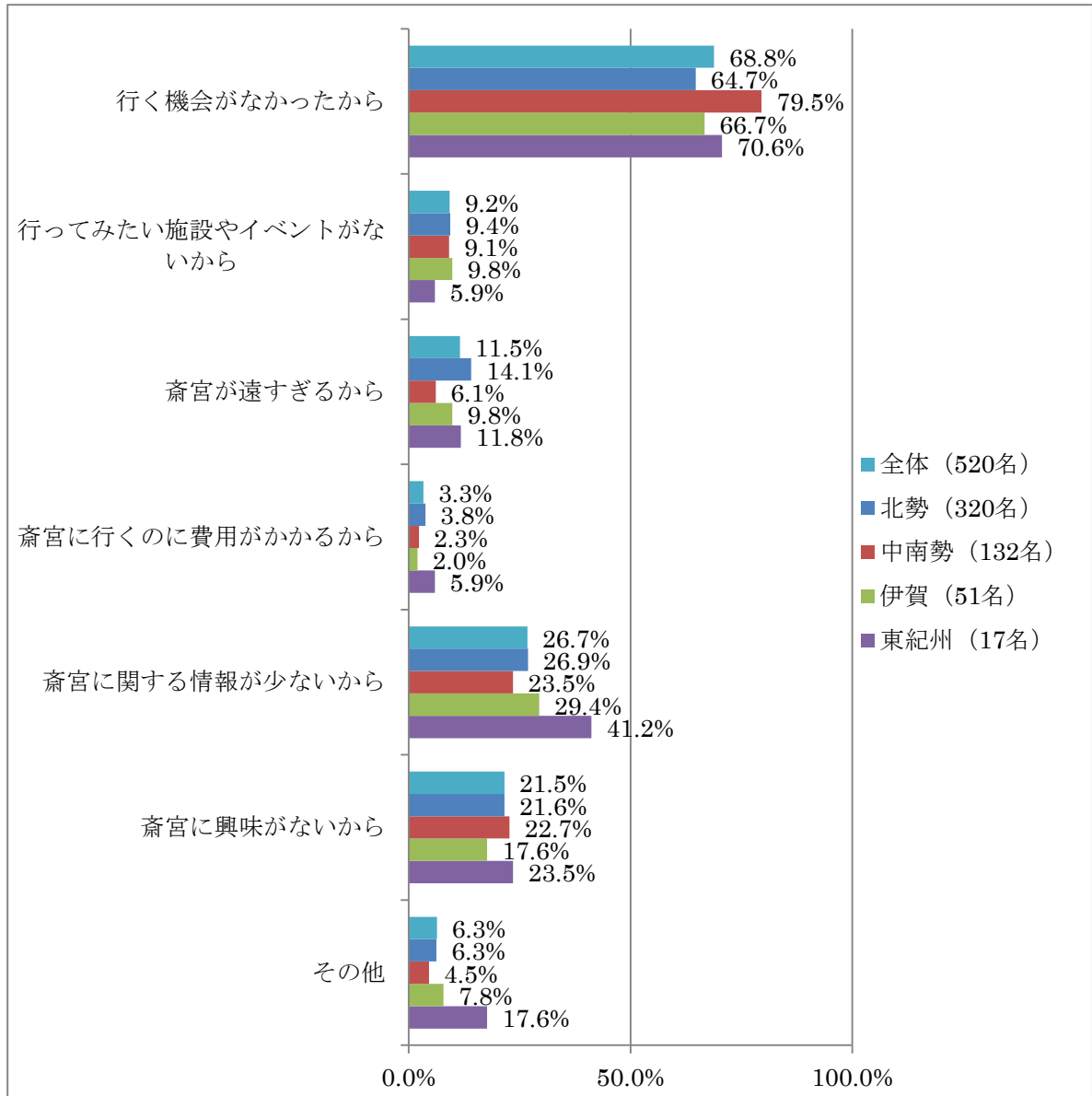
前年度に比べ、さいくう平安の杜の訪問率は上昇しましたが、齋宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館、いつき茶屋などで訪問率が減少しました。前年度と同じく9割近くの方が齋宮歴史博物館を訪れましたが、いつきのみや歴史体験館は前年度に比べ6.4%減少しています。

なお、今年度から発掘現場（体験・見学）を調査項目に加えています。

この他に、「いつきのみや地域交流センター」という回答がありました。

Q7 Q5で、「ない」とお答えいただいた方にお聞きします。齋宮に行くことがなかったのは、どのような理由ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【地域別 各回答数、「ない」と回答した総数に対する各回答の占める割合】



「行く機会がなかったから」が全体で7割近くを占めますが、これは前年度も同じ傾向でした。

また、「齋宮に関する情報が少ないから」は全体で、前年度が20.1%だったものが今年度は26.7%となっていることは、広報に努めることにより齋宮を知ってもらえれば、来訪を促せる可能性が高いことを示していると考えます。

母数が少ないため、結果に大きな差が生じますが、東紀州において「齋宮が遠すぎるから」が前年度の55.6%から11.8%に、「齋宮に行くのに費用がかかるから」が22.2%から5.9%に減少しています。これは、高速道が整備された結果によるものと思われます。

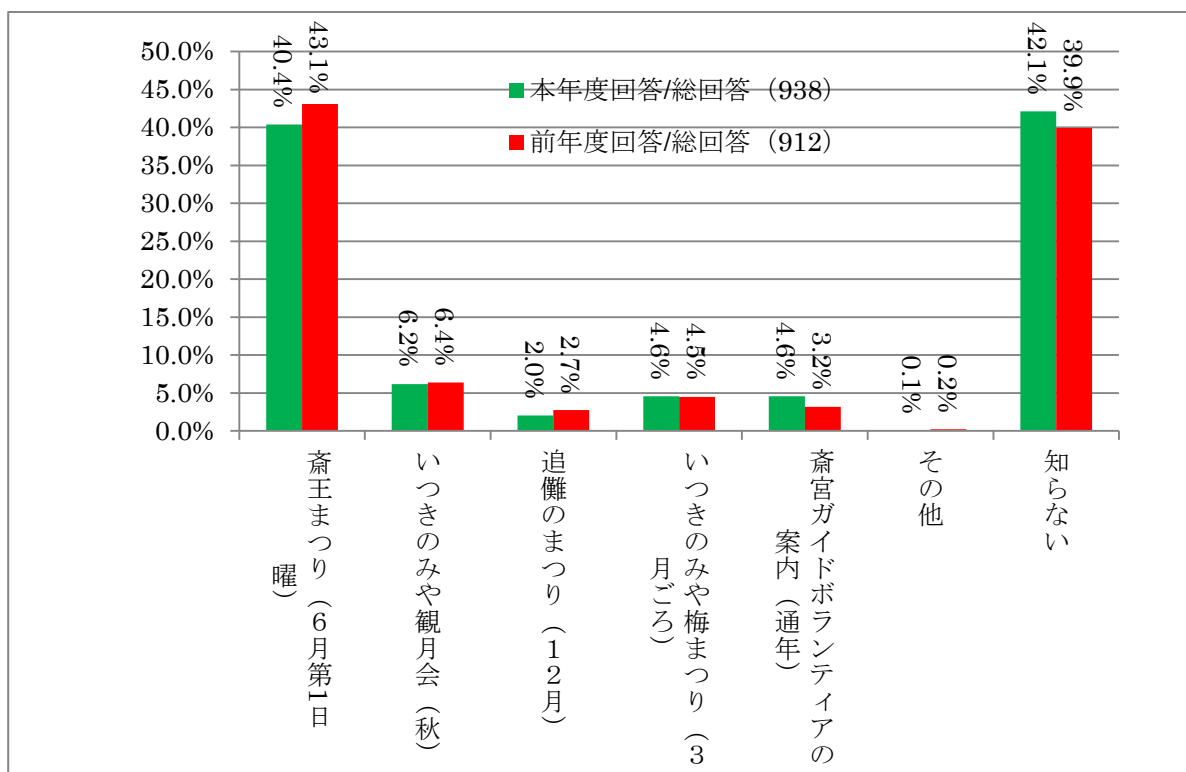
その他として記入されたの主なものは「齋宮を知らなかったから」でした。

【行く機会がなかったと回答した人が選んだ、他の理由】

(人数)

地域別	行く機会がなかった	行ってみただけ施設やイベントがない	斎宮が遠すぎる	斎宮に行くのに費用がかかる	斎宮に関する情報が少ない	斎宮に興味がない
北勢	207	30	45	12	86	69
中南勢	105	12	8	3	31	30
伊賀	34	5	5	1	15	9
東紀州	12	1	2	1	7	4
計	358	48	60	17	139	112

Q8 齋宮でのイベント等で、ご存じのものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

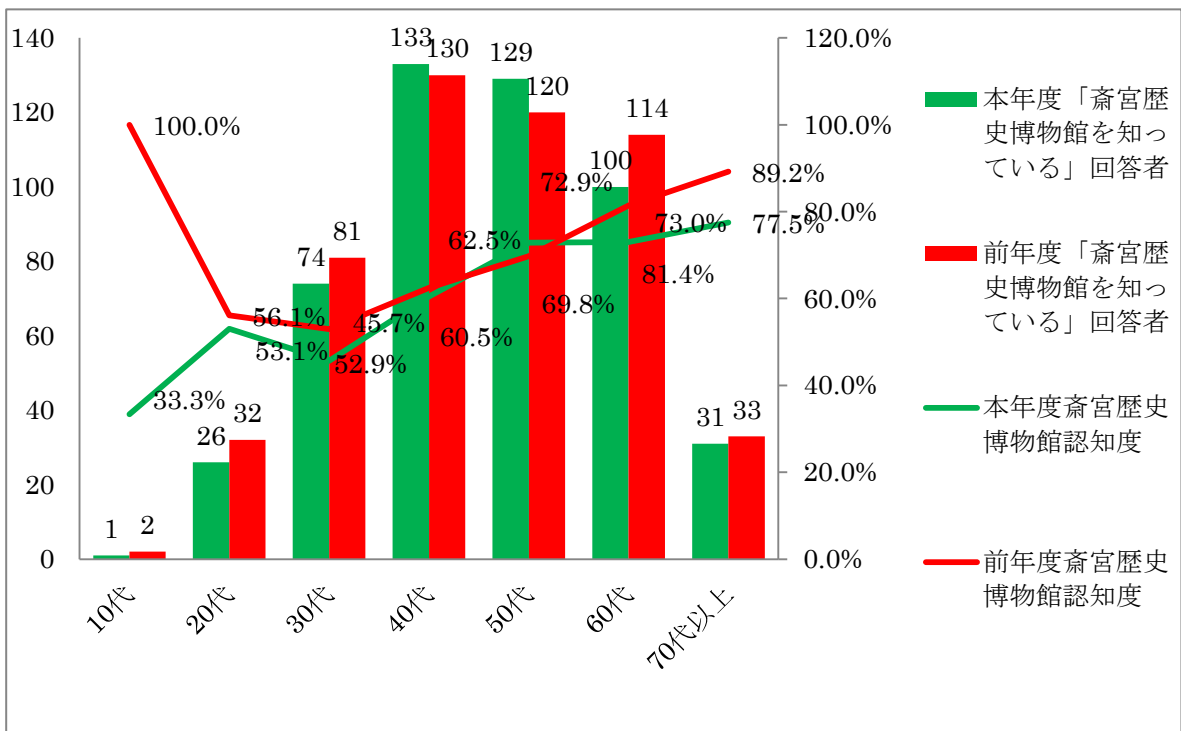


平成 27 年度には 66.8%あった齋王まつりの認知度が、平成 28 年度は 51.5%、平成 29 年度は 43.1%と毎年大きく減少しており、今年度も前年度に比べ 2.7%減少し、40%を割り込みそうになっています。

なお、その他は 2 件 0.2%でしたが、記入なしが 1 件と齋王に関連する他の地域のイベントを回答としていました。

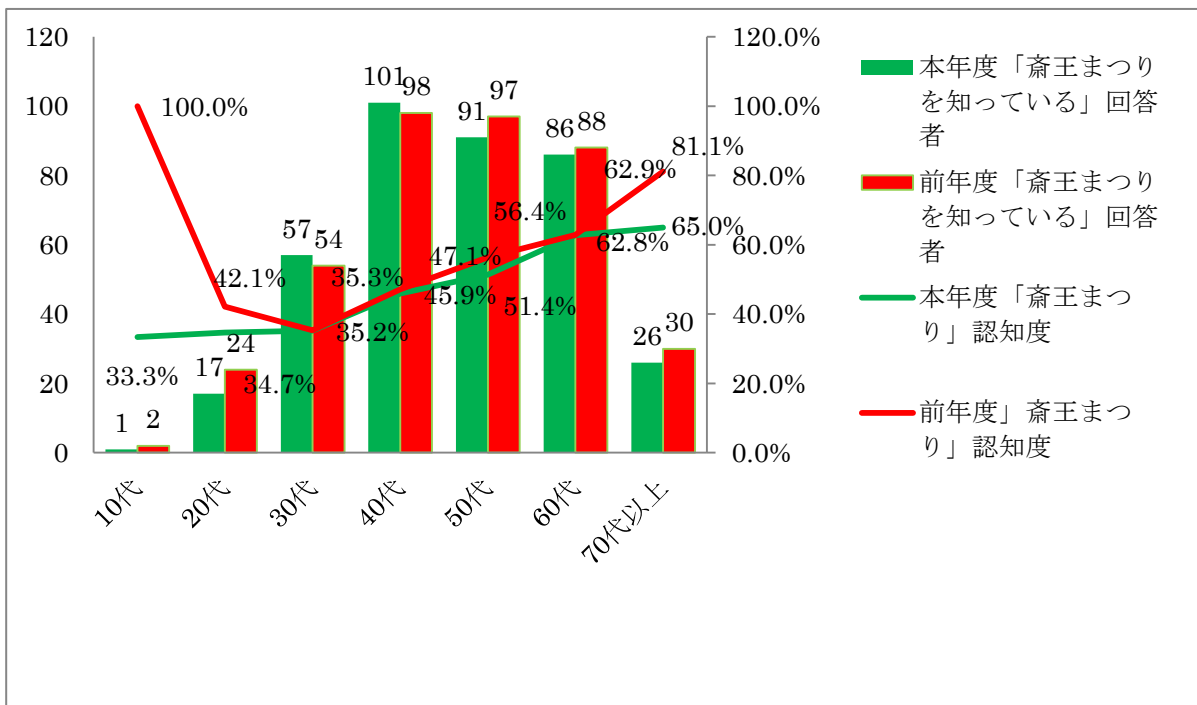
【年代別にみる齋宮歴史博物館（Q2から抽出）と齋王まつりの認知度】

[[齋宮歴史博物館]



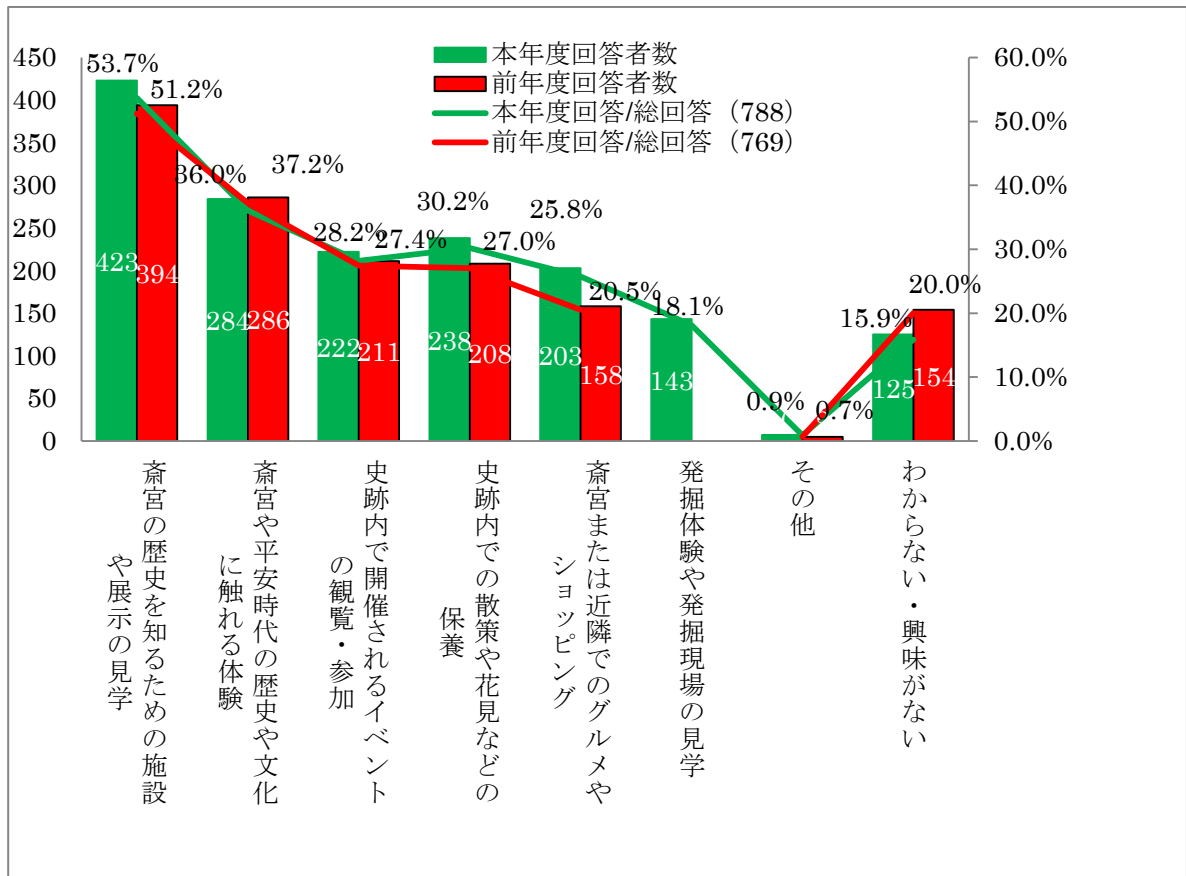
齋宮歴史博物館の認知度は40代と50代で前年度より向上していますが、その他の年代では減少しています。

[[齋王まつり]



齋王まつりの認知度については、30代と40代で前年度より向上していますが、その他の年代では前年度より減少しています。

Q9 齋宮に行くとしたら、何をしたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。



博物館が主に対応することになる齋宮の歴史を知りたい人が 53.7%で、その率は前年度より 2.5%増加しています。

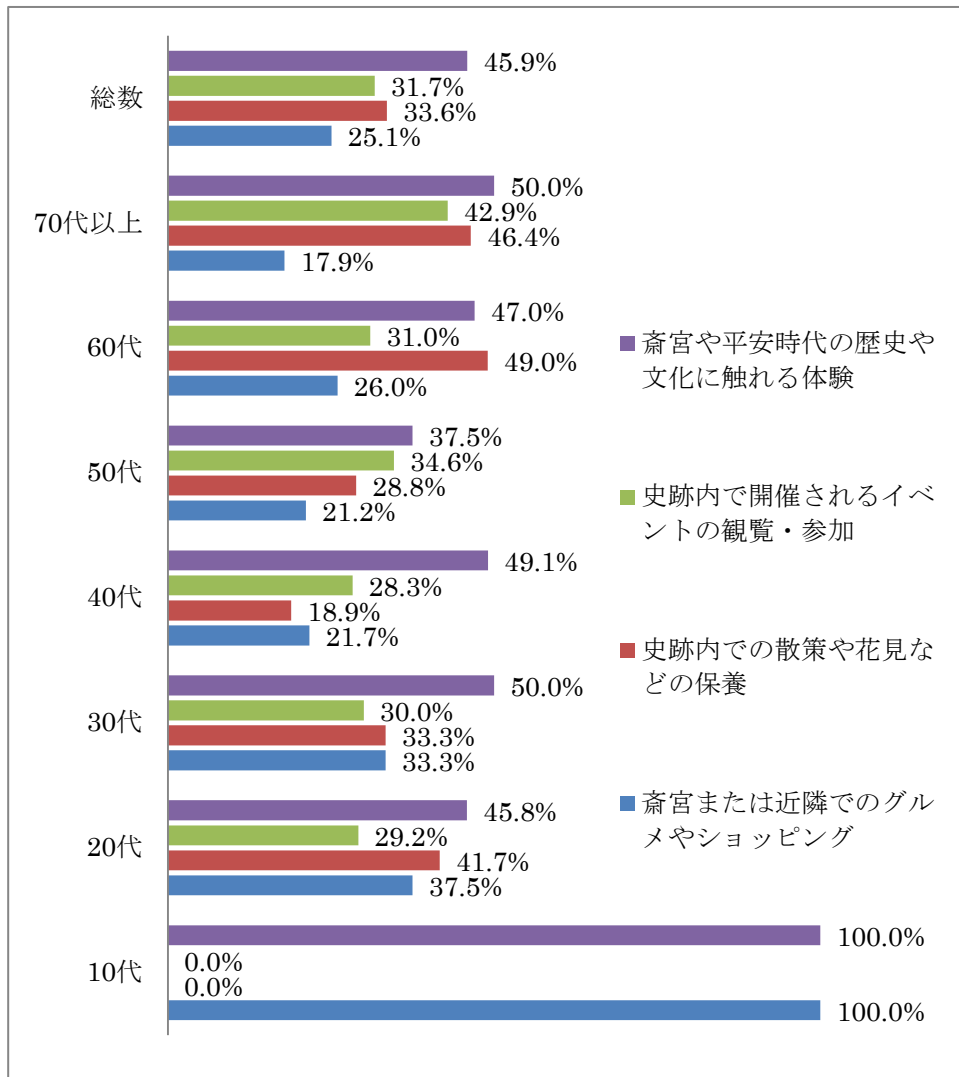
また、文化体験は前年度と同じく 3 人に 1 人が期待していますが、散策や保養を除きイベントやグルメなどを期待する人の割合は 30%以下となり、齋宮来訪時の動機づけとしては弱いようです。

今年度から選択項目に発掘体験や発掘現場の見学を加えています。

なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

- ・子供に特急しまかぜや伊勢志摩ライナーを見せる。
- ・平安時代の貴族と庶民の暮らしぶりの実際について具体的に知ることができるとよいと思う。とりわけ齋王領の大きさと領民の暮らしについて。

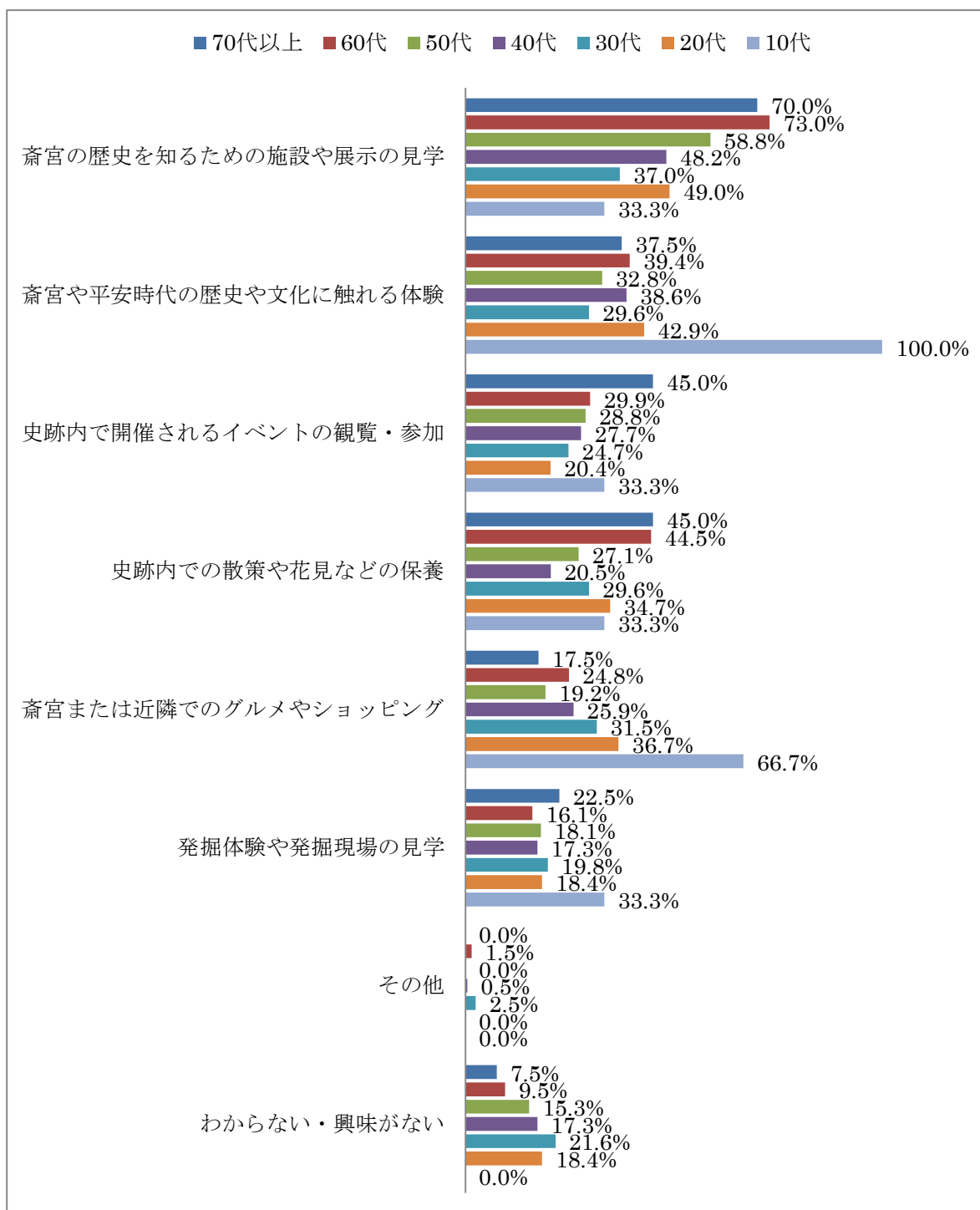
【年代別にみた齋宮の歴史を知るための施設や展示の見学と回答した人が、それ以外に回答した選択肢の割合】



5割の人が「齋宮の歴史を知ること」を齋宮来訪の動機としていましたが、その人たちがそれ以外にどのようなことに興味があるかを年代別に集計しました。どの年代も歴史・文化体験に高い関心があるようです。

母数が少ない10代は別として、20代、30代、60代70代以上は、イベントよりも史跡内の散策や保養に関心があり、40代、50代、は史跡内の散策・保養よりもイベントに関心があるという結果が出ています。

【年代別 齋宮でしたいこと回答割合（回答数／年代総数）】



齋宮でしたいことを年代別で集計すると、母数が少ない10代を別として、50代以上と20代で50%近く若しくはそれ以上の方が「齋宮の歴史を知るための施設や展示の見学」を選択しています。

「齋宮または近隣でのグルメやショッピング」は、若い年代ほど回答率が高い傾向にあります。

Q10 ご自身にとって齋宮で充実・改善すべきものは何だと思われますか。他地域での体験や経験によるものでもよいのでご意見をお聞かせください。

回答の主な内容は次のとおりでした。

- ・子育て世代が行きやすい環境（小さな子どもが遊びやすいような工夫）を整えてほしい。
- ・授乳室や、オムツ換え場所、着替え場所、こどもトイレなどがあること。
- ・展示コーナーの解説が、子ども向けにはマンガで紹介されていたら、子ども達も少し興味がわきそう。(進研ゼミのパンフレットとか、学研のマンガ日本の歴史のイメージ)
- ・食事ができて、グッズを買える店。地域の道の駅のようなものがあればいい。
- ・食事やショッピングができる集客施設（道の駅など）が近くにあると訴求力があってよいと思う。奈良県の唐古・鍵遺跡近くは最近道の駅がオープンしてにぎわっている。
- ・県立美術館にフレンチレストランがあるように、お洒落なレストランやカフェがあると、若い人や幅広い層の女性などが訪れてくれるのではないのでしょうか。
- ・近年、ゲームやアニメの影響で歴史的な施設を訪れる若者が増えているが、和風のコスプレ撮影会等、若者が興味を持つようなイベントを開催して観光客の増加に繋げるのはどうか。
- ・運営に柔軟な姿勢を持たせて、齋宮の場所を提供したイベントの招致など、常に何かをやっていると齋宮と言う場所から認知してもらえるのではと思う。
- ・復元した模型などは、一部は触れるようにしたり、ガリバー旅行記じゃないけど、小さな建物と一緒に写真撮れるコーナーがあったりすると話題になりやすいと思います。写真を撮る、というのは旅行者にとって1番のお土産だと思います。
- ・まずは来てもらうことから。インスタ映えするスポットや食べ物を用意することじゃないですか。
- ・インスタなど来場者が拡散してくれるような企画等の発信。
- ・いかに素晴らしい歴史施設でも広く知ってもわないと誰も興味を抱かないです。SNSで有名人に広げてもらうのも一つだと思います。
- ・映画やドラマのロケを誘致してはいかがですか？
- ・VR等々を使って説明や実際にその当時にいるような体感出来るような事が出来たらよいと思います。
- ・体が弱ってきた両親と出かける場所を探しているので年配者がゆっくり無理なく回れるコースやイベントがあったら嬉しいです。
- ・齋宮への道案内看板などを大きくして欲しいと思った。最近ナビで行くことも多いけどたどり着くのに迷ってしまった。
- ・先ずトイレが充実していない、お店や施設の休日に行っても店舗外で使用するところが見当たらない、表示も見つけにくい。

※なお、認知度が低いので認知度向上が必要、広報の充実が必要、交通の便が悪いとのご意見が多数ありました。